

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2019-504152 (P2019-504152A)

【公表日】平成 31 年 2 月 14 日 (2019.2.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-006

【出願番号】特願 2018-531612 (P2018-531612)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/26 (2018.01)

C 0 9 J 7/38 (2018.01)

C 0 9 J 7/50 (2018.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 121/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 8 J 9/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 7/26

C 0 9 J 7/38

C 0 9 J 7/50

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 183/04

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 201/00

C 0 8 J 9/32 C E R

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 10 日 (2019.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

押出熱可塑性ポリマー発泡体及びその中に分散した粒子を含む独立気泡発泡体層を含む発泡体接着性物品であって、前記粒子は、

(a) 複数の中空粒子であって、前記中空粒子が、(i) 熱可塑性の膨張したポリマー粒子、(i i) 非ポリマー粒子、及び(i i i) これらの混合物、のうちの少なくとも 1 つを含む、中空粒子と、

(b) 複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ大きい比表面積を有する、吸着粒子と、

を含む、発泡体接着性物品。

【請求項 2】

前記複数の非ポリマー粒子は、少なくとも 2 0 0 0 p s i の破壊強度を有する、請求項

1 に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 3】

前記複数の熱可塑性の膨張したポリマー粒子は、熱可塑性ポリマーシェルのコアを含み、前記コアは、液体、気体、及びこれらの組み合わせ、のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 又は 2 に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 4】

前記押出熱可塑性ポリマー発泡体は、(a) 1 種以上の非第三級アルキルアルコールの(メタ)アクリル酸エステルモノマー(前記アルキルアルコールは、1 ~ 20 個の炭素原子を有する)と、(b) アクリル酸；アクリルアミド；メタクリルアミド；N, N - ジメチルアクリルアミド；イタコン酸；メタクリル酸；アクリロニトリル；メタクリロニトリル；ビニルアセテート；N - ビニルピロリドン；イソボルニルアクリレート；シアノエチルアクリレート；N - ビニルカプロラクタム、無水マレイン酸；ヒドロキシアルキルアクリレート；N, N - ジメチルアミノエチル(メタ)アクリレート；N, N - ジエチルアクリルアミド；- カルボキシエチルアクリレート；ネオデカン酸、ネオノナン酸、ネオペンタン酸、2 - エチルヘキサン酸、又はプロピオン酸のビニルエステル；塩化ビニリデン；スチレン；ビニルトルエン；及びアルキルビニルエーテルから選択される 1 種以上のモノマーとの重合によって形成されるアクリルポリマーを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 5】

前記独立気泡発泡体層は、感圧性接着剤である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 6】

前記独立気泡発泡体層は、感圧性接着剤ではない、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 7】

感圧性接着剤を含む感圧性接着剤層を更に含み、前記感圧性接着剤層は、前記独立気泡発泡体層の主表面上に配置されている、請求項 1 ~ 4 又は 6 のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 8】

前記感圧性接着剤は、前記押出熱可塑性ポリマー発泡体層に接着されている、請求項 7 に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 9】

前記独立気泡発泡体層と前記感圧性接着剤層との間にプライマー層が配置されている、請求項 7 又は 8 に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 10】

前記感圧性接着剤は、前記独立気泡発泡体層の 2 つの反対側の主表面上に配置されている、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載の発泡体接着性物品。

【請求項 11】

熱可塑性ポリマーマトリックス及びその中に分散した粒子を含む膨張性発泡体前駆体組成物であって、前記粒子は、

(a) 複数の熱可塑性膨張性ポリマー粒子と、

(b) 複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ大きい比表面積を有する、吸着粒子と、

を含む、膨張性発泡体前駆体組成物。

【請求項 12】

発泡体接着性物品の製造方法であって、

組成物を押し出して、独立気泡発泡体層を形成する工程を含み、前記組成物は、(i) 熱可塑性ポリマーと、(ii) 複数の中空粒子であって、前記中空粒子が、熱可塑性膨張性ポリマー粒子、非ポリマー粒子、及びこれらの混合物、のうちの少なくとも 1 つを含む、中空粒子と、(iii) 複数の吸着粒子であって、前記吸着粒子が活性炭を含み、且つ

大きい比表面積を有する、吸着粒子と、を含む、方法。